

2020 年度 事業報告（各委員会活動報告）

1 総務委員会（委員長：甲斐中哲也）

- ①会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の1週間前に招集し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。また、各委員会間にまたがるような日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。
- ②理事会議事録を作成し、理事会の検討事項・審議内容を正確に記録した。
- ③その他
 - ・2020 年 5 月：MCO 期間中の会費請求について議論。KL 日本人会は、互助組織、非営利団体であり、施設利用、サークル活動が出来る出来ないにかかわらず、固定費が掛かっている。固定費が足りなくなれば、将来的な会費の値上げの検討もしなければならなくなる。よって世界中が想定外の状況下におかれ、会員の皆様にはご不便をおかけしているが、今後の状況が読めず、平常時に戻するのにどのくらいの時間がかかるか読めない今、減免措置を行うことは難しいとの結論となった。今後、会員への何らかの還元策、ならびにテナントサポートとなる対策について検討していくこととした。
 - ・2020 年 8 月：会員へのテナント応援クーポン配布を決議
 - ・2020 年 12 月：事務局長の契約更新 1 年間（2022 年 3 月まで）
 - ・駐マレーシア日本国大使宛に、JACTIM と連名で「在マレーシア日本人の一時帰国に伴う 14 日間の隔離措置の緩和について」の要望書を提出。
 - ・2021 年 1 月：会員へのテナント応援クーポン第 2 弾配布を決議
 - ・2021 年 2 月：JCKL の許認可・ライセンスについて一覧表の更新、テナント応援クーポン第 2 弾配布を修正決議
 - ・2021 年 3 月：日本人会の保険付保の確認、
 - ・駐マレーシア日本国大使宛に、JACTIM との連名で、日本に住民票の無い海外在留邦人も日本でワクチン接種が受けられるよう、要望書を提出。また同内容で内閣府特命担当大臣：河野新型コロナウイルス感染症ワクチン接種担当大臣にも要望書を提出。

1-1 規約関係（担当：小沢史朗）

2021 年 1 月に慶弔規定改定を行った。最終改定から 10 年経過しており、情勢・慣習の変化等を考慮したもの。

＜主な変更点＞

- ・個人会員、賛助会員、学生会員への会長名の弔電、供花の廃止。
- ・個人会員及び賛助会員：弔慰金額同一化。
- ・学生会員：弔慰金額変更。
- ・名誉会員：弔慰金に代わり、会長名の供花

その他：今後の規約変更の必要性についての議論を行った。

所感：社会環境、会員数・会員構成は変化しているため、適宜対応していきたい。

1-2 セカンドホーム関係（担当：柳井教男）

新型コロナ感染拡大及びマレーシア政府による活動制限に伴い、例年通りのイベント開催が出来なかったことから、セカンドホームが関連するボランティア活動は殆ど実績が無かった。

2 企画広報委員会（委員長：高柳充博）

新型コロナウイルスによるS O Pの観点より、例年開催してきた3つのイベントから、クリスマスイベントに就き、作品応募型に形を変えての実行とした。クリスマスにちなんだぬりえイベントを行い、応募された作品は、HPに掲載、214作品144名の参加があった。参加者には参加賞、会長賞、委員長賞、特別賞（会員による投票）を選定した。

【所感】

現環境下、感染予防の観点から、こういった形でのイベント開催が考えられるか、会員さんが安心してご参加頂けるイベントのあり方を引き続き考える必要があると考え、できる範囲での活動実行が臨まれると思います。

2-1 会員関係（担当：川村延義）

コロナウィルスの影響にて、偶数月に開催している「新規入会者の集い」は、開催できなかった。
（2021年4月は、オンラインで開催し、2020年度入会者へ参加を呼び掛けた。）

2-2 ニュースレター編集委員会（編集長：伊藤紀子）

- ・2020年4月号より、ニュースレターをデジタル化。KL日本人会ウェブサイトへの掲載を実施、1年間毎月初旬にE-mailにて会員へのお知らせを発信してきた。
- ・編集委員会については2020年度は主にオンラインにて、月に1回ボランティア編集員を含む編集委員によるニュースレター編集会議を開催。毎号の編集内容、その時期にあったコンテンツを検討、編集方針を決定。決定内容に従い、編集委員による取材活動、原稿の作成を行い、また寄稿については原稿の作成依頼を行い、編集・校正作業を実施し、毎月初めに会員宛ニュースレターを発行した。

3 財務委員会（委員長：高松文生）

- ・定例理事会にて月次財務報告を実施。
- ・2020年度は、667千リングットの現金収支プラス、419千リングットの税後利益で着地。
- ・不良債権償却（RM619.90）雑益計上（RM1,599.75）退会者からの寄付金計上（RM794.10）を実施。
- ・2021年2月、医療費が予算超過した為、理事会にて承認取得の上、予備費から流用。

所感

- ・会員数減少に歯止めがかからないところへ、コロナによるイベント中止やテナント料減少などが重なり、事業収入は予算未達。
- ・今後も会員数増加を実現することは容易ではなく、可能な限りコストを削減し、効率的な運営を図る必要有り。

4 クラブハウス委員会（委員長：大高広之）

- ・2020年10月：会館の中長期間修繕計画開始。2020年3月にCCCを取得したが、今後中長期的に、建物を維持していくためにやるべきことの洗い出しを行う必要があり、（屋上防水の改修、人工地盤の耐久性の確認等）、今後のメンテナンス及び修繕計画について、優先順位を付けて年度ごとの実施項目を明確化するため、コンサルタント会社（プラスPM社）に依頼することとした。
- ・2021年1月：2020年12月17日に会館東側斜面点検を行い、斜面の状態に問題はないとの結果であった。

4-1 クラブハウス将来計画小委員会（委員長：大高広之）

- ・2021年3月31日終了事業年度の決算では、約666千リングの現金収支プラス、479千リングの税前利益という結果となり、当小委員会内で2020年度の新会館建設積立金計上額を検討した結果、666千リングを積立てることを理事会で決議し、総会で報告を行った。

所感

- ・クラブハウスは 1976 年、1985 年、1993 年の 3 期にわたり建設されている。当初 1976 年から 50 年後の 2025 年頃の建て替えを計画していた。しかし、昨今の財政その他の要因もあり、延命させ 2045 年頃の建替えとなるよう現在は想定している。
- ・建物延命のためには、必要な改修工事（屋上防水の改修、設備の改修等）、建物構造、敷地東側西側の斜面補強構造、ゲート入り口の人工地盤等の耐久性の定期点検等が必要となるため、上述の通りコンサルに入って貰い、今後中長期的に実施していく計画としている。

5 店舗委員会（委員長：安部智晴）

- ・2020 年 5 月:MCO 期間中の家賃割引について、店舗クローズ中の家賃は賦課しない。MCO 期間内に開けていた店舗は家賃を半額にする。水道＆電気料金は全額賦課する（メーター通り或いは別途取り決め通り）を提案し、承認された。MCO2.0（2021 年 1 月）もこれを適用した。
- ・2020 年 6 月：オレックストラベル退店
- ・2020 年 7 月：サンライズトラベル、朝日カフェとの新規契約

所感：各テナントの経営状況を見ながら、出来るだけの支援は必要と考える。

6 文化活動委員会（委員長：堀口勝人）

- ・2021 年 3 月末現在、部活動：18、同好会活動：34 合計：52 の部・同好会が活動。
廃止 1（クレイアート部）、新規発足 1（KL フラハイスカス子ども）、その他休会中 1
- ・2020 年度日本語講座は、MCO のため開催できなかった。
- ・JFKL 主催、KL 日本人会が協賛している日本語弁論大会、日本映画祭共にコロナウィルスの影響で中止となった。

所感：COVID-19 により多くの部・同好会の活動が制限を受ける中、JCKL として各部・同好会の抱える課題などを今後積極的に拾い上げていく方法を見出していきたい。

7 スポーツ活動委員会（委員長：淵上靖）

- ・2020 年 10 月：KL ソフトボールリーグ運営委員会同好会は、ソフトボールリーグに参加している各チームの代表者の集まりであり、これを同好会として認定することによって、JSKL グランドの使用を認めてきたが、リーグ参加チームの日本人会員の比率は低く、会員比率 50%以上を守るという付帯条件が守られていないこと、同好会メンバーである各チームの代表者にも非会員が散見されたことから、入会促進の通告を行った。その結果、2021 年 1 月、KL ソフトボールリーグ運営委員会同好会から廃止届が提出された。
- ・2021 年 3 月末現在、部活動：12、同好会活動：10、合計：22 部・同好会が活動。
（休会中 1）廃止 1：KL ソフトボールリーグ運営委員会同好会

所感：実質活動ができない 1 年間となってしまった。再開後は SOP を確立し、それを遵守する 安全・安心な活動となるように確認していきたい。

8 学校委員会（委員長：香取龍太）

1) 園児・児童・生徒数の推移

2020 年はコロナ禍による 3 月中旬の行動制限令発令を機に、園児・児童・生徒の減少が加速、総数は一気に 200 名近く減少し、その後も低迷が続いた。

2020 年度 園児・児童・生徒数の推移

年 月	幼稚部	小学部	中学部	合 計
2020 年 3 月	119	553	122	794
2020 年 4 月	57	432	116	605
2021 年 3 月	65	444	109	618

2) 学校教育目標と教育の重点

2020 年度は年間を通じてコロナ禍に伴う断続的休校措置が取られる中ではあったが、学校教育目標は、前年同様「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」とし、その“めざ

す学校像”は「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった JSKL」、「めざす子どもの姿」は「元気で最後まで取り組める子、誰にでもやさしく出来る子、夢をもって世界にはばたける子」、「めざす教師像」は「優れた授業で勝負する教師、子どものよさを育て共に成長する教師、常に努力を惜しまない教師」を掲げ、初のオンラインを基軸とした教育活動を推進した。

3) 学校経営 3 か年計画の実践

2020 年はコロナ禍に伴う休校措置が断続的に続き、年間を通じてオンライン授業対応を実施すると共に、計画していた多くの学校行事の実施を見送らざるを得ない事態となったが、2018 年度より取り組んでいる①ICT 教育の充実、②英語教育の充実、③心の教育の充実からなる学校経営 3 か年計画は、継続して強化推進した。特に①は PC、タブレット端末の更なる充実を図ると共に、教材作成や授業での活用の為の教員研修にも取り組み、オンライン授業の実質的な初年度としては大きな成果を上げることが出来た。②は EC コーディネーターの継続登用が奏功し、一貫性のある学習方針と現地教員の労務管理等が実現できたことで、EC 部として統制の取れた教育活動を実践することができ、結果として充実した EC 授業を行うことができた。③は外部医師の協力による子育て相談室や内部教員による教育相談室等を開設するなどして教育関連相談の充実を図った。

4) 2020 年度（令和 2 年度）予算・決算

①学校一般会計（小中学部）

小中学部の年間平均児童生徒数は前年から小学生の増加傾向を予想して 697 名（前年比 103%）と見込み、単年度予算収入は 10,415 千円、同支出は 10,288 千円とした。収入実績はコロナ禍による生徒減少で授業料収入が予算を大幅に下回るも（予算比 86%）、予算を上回る政府援助等により全体では 6%減で着地した。（予算比 94%、前年比 98%）

一方で支出は断続的な休校措置に伴い、旅費交通費、光熱給水費、委託管理費、行事費等が低下すると共に、収入減を見据えて不要不急の支出を先送りする等の対策を行った。（予算比 80%、前年比 95%）。

②学校一般会計（幼稚部）

幼稚部では園児数を昨今の微減傾向を勘案して 103 名（前年比 97%）と見込み、単年度予算収入は 2,046 千円、同支出は 2,023 千円とし収支はほぼブレイクイーブンの 23 千円とした。収入実績はコロナ禍に伴う園児の大幅減少で大きく予算を下回り（予算比 61%、前年比 60%）、支出は各種コストをコントロールするも固定費を中心に削減難しく、483 千円の赤字となった。

③学校維持会計

学校維持会計は、学校施設に付随する各種設備等の調達・保守・維持を扱っている。今期は文科省 PC 整備支援事業（購入費用の半額を政府が援助）を活用し予算外にてラップトップ PC90 台、タブレット端末 180 台を追加購入して年間を通じて実施したオンライン授業に資することができた。また予算化していた CCTV23 台追加設置への政府援助が確定し、CCTV 総数は 39 台となった。収支は予算外の PC 購入（上述）あるも 103 千円の赤字で抑えた。

④新校舎会計

新校舎会計は、学校の校舎、施設等の固定資産管理と、現スパン校舎建設から 50 年後（2042 年）の校舎建替えの為の資金積み立てを目的として運営している。今年度の収入は生徒減少で大幅予算割れ、支出は校舎改修工事費用の一部を予算化したが、コロナ禍の影響もあり工事開始は次年度へ延期。

（収支：実績 1,472 千円、予算 2,145 千円）

所感：昨年 3 月頃から始まったコロナ禍に伴う臨時休校措置が年間を通じて断続的に継続、この影響で園児・児童・生徒数が減少し、大幅な減収となった。授業はオンラインで実施したが、政府補助もあり ICT 端末は整備完了、また教員も着実にオンライン授業の習熟度を上げ、保護者の皆様方からは一定の評価を頂いた。また、学校運営の各種仕組みの再整備については、順次、諸課題について理事会で共有しながら整理を推進してきた。会計の仕組みについては内部統制、年次報告体制確立等は概ね完了した。本年度はシステムの再構築を中心に整えていく予定であり、理事会としても積極的に関与していきたい。

9 教育施設管理委員会（委員長：吉田敏彦）

・2020 年 12 月：帝京マレーシアと日本人会の覚書更新。2018 年 1 月より会館の使用に関する 1 年間の覚書を締結している。現状の確認をしたうえで、守られていなかった点（喫煙場所や駐車場の問題）についてはすでに注意喚起も行い、来年度分について同社と覚書を取り交わした。

10 福利厚生委員会（委員長：小野澤麻衣）

・はぐくみ会、出産準備教室

コロナ禍において、ボランティアスタッフによる懸念や参加者等への感染を勘案し、両事業ともに実施を控えた。

・オンラインヘルストーク

日時：2020 年 9 月 20 日（日）10 時～12 時 場所：オンライン（一部第 2 ホールにて聴講）

テーマ：下肢静脈瘤「コロナで増えた足の静脈の病気～ふくらはぎ運動と弾性ストッキングのススメ～」

講師：目黒外科院長 齋藤 陽 氏

参加者：30 名

※第 2 回開催を 20 年 12 月に予定していたが、政府による感染拡大防止のための移動制限令により第 2 ホールでの聴講が不可能となり見送った。

・予約制オンライン無料健康相談

期間：2021 年 1 月から（月 1 度）

医師：Mahameru International Medical Centre バラト よしみ 氏（ボランティアによる実施）

相談件数：17 件（21 年 3 月時点、各月すべて満席）

所感

・従来実施しており会員等からのニーズも高いはぐくみ会及び出産準備教室を、コロナの影響により開催できないことは残念だが、現在は感染拡大防止が最優先と考え、実施可能な状況になることを待ちたい。

・オンラインで開催した医師による講演や相談も、会員による関心、ニーズが高いことが分かったため、周辺環境を確認しつつ、21 年度も可能な限り継続していきたい。

11 日本人墓地維持管理委員会（委員長：万代利夫）

毎年恒例で実施している春秋のクアラルンプールに日本人墓地の慰霊祭は、COVID19 の感染予防のための行動制限遵守のため、開催不可能となった。

このため会員有志による慰霊堂での焼香、慰霊碑及び墓碑への献花を行った。

春：2020 年 3 月 8 日、秋：2020 年 9 月 13 日。

埋葬申請：一件、承認、埋葬済み。

墓石移葬：2019 年にパハン州ベントンで発見された日本人の墓石 6 基をクアラルンプール日本人墓地に移葬すべく手筈を整えたが、COVID19 による行動制限により移葬が実現せず、いたところ、墓碑のあった場所が無断で整地され墓碑が紛失していた。現地警察への届け出を準備中ながら、MCO による移動禁止で現地訪問が出来ていない。

所感：最近、マレーシア人から、昔日本人墓地があったとの情報に接する事がある。在マレーシア日本大使館編纂の「マレーシアの日本人墓地及び墓碑」によるとマレーシア全土に約 30 箇所の日本人墓地が記録されているが、これ以外にも日本人墓地が埋もれているのではないかと感じている。これらの情報に注意し、埋もれた先人達の慰霊ができれば良いと考えている。

12 IT システム委員会（委員長：柳井教男）

・2020 年 2 月に行ったウェブサイト・リニューアルに続き、会員ログイン機能、支払い機能を備えた、新メンバーシップ管理システムの開発については、MCO 等の影響もあり遅延しているが、継続開発中であり、実現に向けてフォローしていく。

・2020 年 12 月：システム導入に先立ち、1 年以内再入会時の入会金免除制度の廃止、月次請求書発行への統一などを提案し、承認を得た。

13 盆踊り実行委員会（2020）（委員長：岡本豊勝）

新型コロナウイルスの影響により、マレーシア政府による活動制限令（3月18日～6月9日予定）が発令されたことにより、大規模イベント実施の許可が出ない事、開催準備が出来ていない事、また関係団体からの意向も踏まえ、感染防止の観点から、第44回KL盆踊り大会は開催を中止した。

所感：MCOの関係で2020年度は実行委員会を開催することなく盆踊り大会の中止を決定することになり大変残念であった。

14 バザー実行委員会（2020）（委員長：小沢史朗）

新型コロナウイルスの影響により、マレーシア政府SOP遵守し、感染防止策をとり、規模を縮小して開催することとした。その後、感染者数増加および活動制限令・SOP変更により、開催を2度にわたり延期したが、2021年3月14日（日）11時～14時、第48回チャリティバザーをKL日本人会第1ホールにて開催した。

当日は来場者約370人。（関係者ボランティア含む）

手芸品・協賛品のバザー当日売上げ収益、企業・個人の皆様からの現金ご寄付に過去の剰余金等を合わせた約RM75,000を10ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL慈善基金に対し行った。

所感：ほとんどのイベントが中止となる状況下、かとれあ会、協賛いただいた企業をはじめとする各方面からのご協力を得て、開催を実現し、収益金の寄付活動を継続することができました。

15 新年会実行委員会（2021）（委員長：小寺博之）

2021年1月の新年会実施に向け、12月末までのRMCO中のSOPに準拠する形で行うことを検討した。具体的には、駐車場でのステージや出店はソーシャルディスタンスのコントロールが難しいため、館内限定のイベントとすること、餅つき並びに配布についても衛生面から例年通りの実施は不可能であり、日馬和里さんへ注文することが出来ないか等検討した。

また、ステージ参加予定の部・同好会がコロナの影響で参加できなくなったことから、同時期に会館で計画していたチャリティバザーとの合同開催についても検討を重ねたが、1月13日～26日までのMCO発令により、中止を決定した。

16 海外安全関係（担当：濱本博樹/山田元一郎）

新型コロナウイルス感染症対応に関して、

- ・マレーシア政府による出入国管理情報、活動制限令等について
- ・日本政府による水際対策強化に係る措置等について

それぞれ情報提供を行った。

17 婦人部（担当：伊藤宜広/星合大）

■地元への社会貢献■

1) ボランティア訪問支援活動

下記①と②福祉施設にて一般かとれあ会婦人会員とかとれあ会役員によるボランティア活動を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、施設での活動は中止となった。ボランティアの自宅で日本人会チャリティバザーの施設ブースの販売品を製作。

① ブキナス身障者施設（Asrama Cahaya Rumah Wanita Cacat, Jalan Bukit Nanas）

毎月第3水曜日 10:00～10:30 お年寄り体操やハンドマッサージ

10:30～12:00 チャリティバザーのための手芸品作成

毎月第4木曜日 10:00～12:00 チャリティバザーのための手芸品作成、クリスマス会の準備

② PJ チルドレンズバプティックセンター（Spastic Children Association of Selangor & W.P）

毎週木曜日 09:00～10:00 子ども達と音楽に合わせた運動

③ ①と②のボランティアグループ連絡係との連絡会を8月に開催。

2) 慈善活動・行事関連

① 寄付先福祉施設との交流

・ 9 月、2019 年度の寄付先福祉施設訪問を実施。

② チャリティバザー関連

・ 10 月～12 月 かとれあ会役員によるバティックフラワー作りワークショップ、また第 48 回 KL 日本人会チャリティバザーに向けて準備と協賛品・手芸品の搬入の手続き、オンラインバザー委員会を開催。

・ 2021/3/14(日) KL 日本人会第 1 ホールにて第 48 回日本人会チャリティバザー2020 を開催。

当日約 370 名の会員の方が来場された。

・ チャリティバザー活動からの寄付金（法人会員からの寄付金及び過年度剰余金を含む）：RM75,000.00

・ 2021/4/23(金) オンラインドネーション贈呈式を行い、マレーシア国内 10 福祉施設に寄付。

■ 日本人会関係イベント ■

新型コロナウイルス感染の影響で日本人会関係イベント（新年会、会盆踊り大会、秋春の慰霊祭）開催中止となったため、参加なし。

■ 日本人学校 PTA との交流 ■

9 月、PTA との連絡会を開催。

かとれあ会役員、地区バザー委員、PTA 役員の選出に際し連携できた。

所感

・ 婦人部会担当理事として、マレーシア政府の移動制限令、厳しい SOP 等の中、状況が許す範囲でマレーシアの福祉施設訪問とチャリティバザー開催、WEB 会議等素晴らしい活動を拝見し、感銘を受けると共にかとれあ会の皆さんの努力には感謝しております。

・ 厳しい状況下チャリティバザーを開催でき、収益金を福祉施設に寄付する事が出来たことに、活動意義を感じています。福祉施設の訪問の際やドネーション贈呈式での福祉施設の方々の嬉しそうな笑顔を見て、婦人部の社会貢献活動は欠かせない活動であると感じた次第です。

・ また、昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施しながら、年間の計画していた活動は、全て行うことが出来たことは素晴らしい挑戦だったと思います。

18 全マレーシア日本人会 （担当：甲斐中哲也）

第 41 回目のマレーシア全日本人会連絡会が、2020 年 10 月 2 日（金）オンラインにて開催された。（ペナン日本人会が幹事）12 か所の日本人会のうち、今回は 10 か所の代表が参加した。

また、同時に大使館主催で第 39 回安全対策協議会が開催され、外務省海外安全ホームページから、感染危険情報、危険情報について、及びマレーシアの安全情報が共有された。

以上

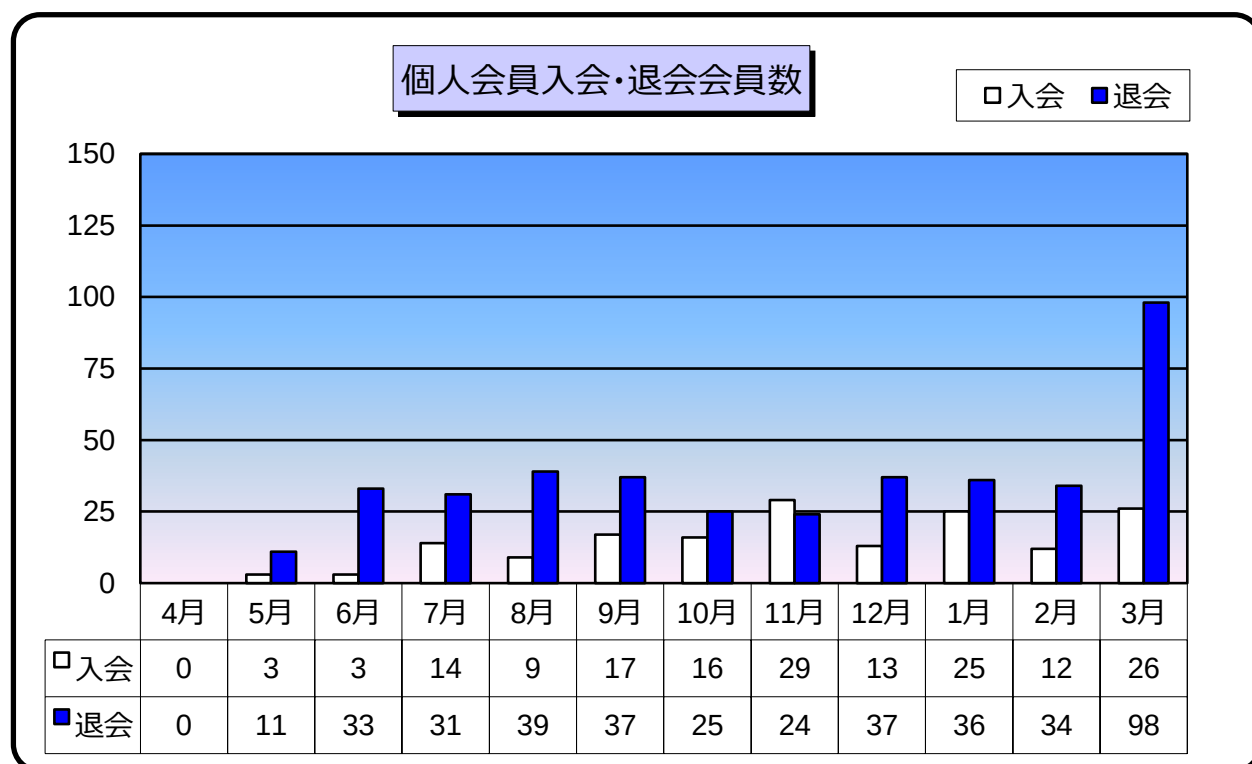
K L 日本人会会員数推移

2020 年度

(2020年4月～2021年3月)

	入会会員数				退会会員数				会員数					学生
	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	内 MM2H	賛助	学生	
									315	1680 4076	313 / 588	352 681	11	
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	315	1680 / 4076	313 / 588	352 / 681	11	
5月	0	3	0	0	0	11	5	0	315	1672 / 4059	310 / 583	347 / 670	11	
6月	0	3	0	0	5	33	9	3	310	1642 / 3988	305 / 577	338 / 656	8	
7月	1	14	3	0	3	31	10	2	308	1625 / 3927	298 / 560	331 / 637	6	
8月	0	9	2	0	2	39	9	0	306	1595 / 3839	298 / 560	324 / 625	6	
9月	0	17	1	2	3	37	6	0	303	1575 / 3774	294 / 551	319 / 621	8	
10月	1	16	2	0	2	25	5	0	302	1566 / 3748	292 / 546	316 / 615	8	
11月	0	29	0	0	1	24	8	0	301	1571 / 3734	291 / 546	308 / 595	8	
12月	0	13	0	0	3	37	10	0	298	1547 / 3665	283 / 525	298 / 580	8	
1月	0	25	0	0	2	36	5	0	296	1536 / 3645	274 / 507	293 / 570	8	
2月	0	12	0	0	0	34	2	1	296	1514 / 3607	270 / 501	291 / 564	7	
3月	1	26	2	0	5	98	4	0	292	1442 / 3363	263 / 486	289 / 554	7	
合計	3	167	10	2	26	405	73	6	※ ※					

※ 会員数／総数(含家族会員数)



KL日本人会会員推移グラフ

(年/会員タイプ別)

